また大会２週間前から１週間前になるとカプという期間に入ります。カプとはボディービルダーでいう絞り込むようなラストスパートの期間です。この期間では砂糖、タコ、イカ、海藻を食べることが禁止になります。

- お砂糖はハワイ語でkoです。お砂糖以外に「達成する」、「満たされる」という意味があります。まだ何も達成していないので食べません。
- タコ、イカはハワイ語でHeeです。逃げる、滑るという意味があります。He’e mahola呪術で病気を広げるタコのことです。
- 海藻はハワイ語でliPe’ePe’eです。Pe’eは「隠す」という意味があります。神々が海藻を食べるのを誰にも見られたくなかったということからきています。

また、ケンカや口答えをすることや虫でもなんでも死体に触れることも禁止されています。これらは昔から行われている伝統です。

大会の３日から４日前からレイと髪飾りを生の葉や花で自分たちで作っていきます。簡単そうに見えてすごく難しくて、特に髪飾りは花などが傷まないないようにしながら落ちないように強く編んでいきます。レイや髪飾りなどから花や葉が落ちるのも減点になってしまいます。

私たちのグループは中学生から大学生が出場し、勉強や部活、バイトなどを両立し、多くの人がフラのために何かを犠牲にしてみんな続けてきています。

今回のコンペに向けてどのような想いで取り組んできましたか。

今回のコンペは、私にとって生涯最後になるかもしれない大切な大会でした。私は将来やりたいことが決まり、その目標に集中するため、６月いっぱいでフラを辞めることを決めていました。そのため、「最後だからこそ後悔のないようにやり切りたい」という強い気持ちで大会練習に取り組みました。

「カ・ピリナ・フラ・フェスティバル」とは？

「ピリナ」とはハワイ語で「つながり」のことです。「時代や世代、場所にとらわれず、ハワイの伝統であるフラを通してつながる」イベントです。

１人でおこなうソロ競技とグループでおこなう団体競技があり、さらに年代別に６～１２歳のケイキ、１３～３９歳のワヒネ、４０歳以上のグレイシャスの３部門にわかれています。

ソロと団体、様々な年代でそれぞれ違った表現を楽しめるのも魅力のひとつです。

今回の大会練習は中学３年生の夏ごろから始まりました。しかし、その時期は進路や成績など、将来に関わる大切な時期でもありました。さらに、私はバドミントン部にも所属していたため、毎日とても忙しく、ほとんど休みのない生活を送っていました。

特に、中学１年生の時の大会では、思うように踊ることができず、チームのみんなにも迷惑をかけてしまいました。何が正解なのかも分からず、先生に怒られることも多く、大会に出られないかもしれないほど追い詰められた経験があります。その悔しさがずっと心に残っていたため、今回の大会では「絶対に同じ後悔はしたくない」という思いが強くありました。

勉強、部活、フラのすべてを両立することは簡単ではなく、勉強でうまくいかなかったり、どのコースに入るのか、フラを続ける上でこのコースで両立できるのかなど、進路について悩むこともたくさんありました。「このまま続けてついていけるのか」、「勉強を優先した方がいいのではないか」と不安になる時期もあり、何が正しいのか分からなくなってしまうこともありました。それでも、最後の大会だからこそ全部に全力で向き合い、後悔しないよう努力を続けました。

その結果、悔しさは残ったものの、２位という結果を残すことができました。多くの人はフラはリゾート施設やフェスティバルに出るような可愛く楽しく踊ることがフラだと思う人が多いと思います。しかし、私のようにハワイの歴史、文化を伝えたい、本当にフラが好き、メリーモナークに出たいなど本気でフラをやっている人たちもいてそのフラは想像以上に大変ということを知ってもらえると嬉しいです。また、何かをあきらめずに最後まで結果がどうであれやることがこの経験を通して大事で今後につながると思うのでこれからも頑張っていきたいと思います！